

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170200473		
法人名	介護サービス九州株式会社		
事業所名	つくしんぼのグループホーム唐津		
所在地	佐賀県唐津市和多田大土井2-35		
自己評価作成日	令和3年8月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年10月15日	外部評価確定日	令和3年11月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご利用様が自然なかたちでの自立支援「自己選択」「自己決定」、予防「生活療法」を行えるようにしています。看取りを行い、ご利用者様、ご家族様が安心して暮らせる事業所を目指しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>唐津市の主要道路より入った閑静な住宅街の一角にある築50年程の和風建築民家改修型グループホームである。日中過ごすホールは、畳敷きに床の間がある等利用者にとって昔懐かしい雰囲気があり、落ち着いて過ごされている。開設後20年経過し、利用者も高齢化している為、生活全般に介助を要する方が多い。日中はなるべく職員との交流を心掛け、ホールで過ごしてもらう時間を大切にしている。法人代表が掲げた事業理念は、各事業所の基本理念となっており、管理者・職員は基本理念に共感し、利用者を家族ととらえ、日々のケアに心を砕き、最善の方法を考えながら支援している。入居後は最後まで支援する事を常としており、これまでも看取りを複数回経験している。看取りに関して研修を重ね、本人・家族も安心して利用されている施設である。今回訪問の際、施設の場所が分かりにくかった為、門柱や裏玄関に案内があれば今後スムーズに訪問出来ると思われる。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を各職員が理解し、母体の理念、事業所理念を朝礼で唱和し、実践につなげています。	企業理念は法人代表が福祉事業を起業する際に考えられた全事業所統一の理念である。毎日朝礼時に唱和する事で、職員間での共通理解が出来ている。各事業所にも理念があり、「つくしほのグループホーム唐津」も開所時のメンバーで考えられた事業所理念は、現在も変わる事なく掲げられ実践に繋がるよう唱和している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃作業やイベントに、利用者様と参加しています。運営推進会議にも近隣の方、駐在員に参加して頂いています。	地域の清掃作業等に職員が参加しており、地域との関係性を大切にしている。コロナ禍の為、施設行事への地域住民の参加や利用者が地域に出向く機会も少ない状況である。外出の状況が改善された際は、施設行事への招待や外出の機会を設ける等、地域との交流を検討する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員は、事業所内や外部の研修に参加し、認知症の理解、支援の方法を学んでいます。認知症サポーターの養成を受けた職員も1名います。運営推進会議では、認知症の方への理解や支援方法を伝えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の状況をありのまま報告しています。特に、事故やヒヤリハットの報告では、厳しい意見やアドバイスを頂き、サービスの改善と向上に向けて取り入れています。	コロナ禍の為、運営推進委員会は自粛しており、管理者他少人数での会議を実施し、委員各位へ送付している。状況を見ながら開催された委員会議事録もあるが、参加人数が少なく、各委員からの意見や質問等に関する内容の記録がなく、施設からの報告のみになっている。議事録は公表されているが、今後は双方向からの意見交換の場となる事を期待したい。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	メールや電話、訪問等で協力体制が出来ていると思います。事業所での事故発生時や実情などを報告し、担当の方から指示など頂いています。	運営推進委員会に地域包括支援センター職員も参加している為、何でも相談出来る間柄である。昨年度認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターと協働で開催予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症予防の為中止となっている。管理者は認知症サポーター養成講座の講師資格を取得し、地域の方に認知症についての講習会を行いたいと希望している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、玄関は開放しています。身体拘束等防止のマニュアルを作成し、事業所内外で研修に参加し理解を深め、身体拘束等を行わないケアを実践しています。	管理者が研修を受け、毎月実施されている職員勉強会で周知しており、職員は身体拘束の内容と弊害も理解している。身体拘束について言葉のアンケートを取り、職員間でも言葉に関する拘束について日頃から気をつけている。職員の言葉使いに対して問題があると感じた時には管理者が注意出来る関係性を築いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内や外部で研修に参加し、理解を深め、利用者様への声の掛け方など、職員会議等で話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護については研修を行い、利用者様に必要な時は活用出来るように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	懇切丁寧に説明しています。不明な点は、いつでも、電話、携帯、メール、LINEで問い合わせが出来るようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様には、日々のケアの中で要望などの情報収集を行い、ご家族に関しては、面会時、訪問時に、利用者様がどんな生活をされていたのか、支援の要望を聞き、要望書に記録し運営に反映しています。	コロナ禍の為面会も制限されており、窓越しの面会やライン電話を使用して家族へ日頃の状況等伝え、普段から何でも言える関係性を築くよう心掛けている。家族の希望により自宅への送迎を行ったり、普段の買い物等も家族に代わって購入している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、朝礼時、日々の業務時に、職員の意見や提案を聞き、話し合い、運営に活かせるように検討しています。	法人代表との個人面談の機会は設けていないが施設を訪れた際は利用者・職員へ気軽に声かけを行い、交流を図っている。管理者は普段から職員とコミュニケーションを図り、何でも言える関係性が出来ている。職員から上がった要望等を代表へ伝えているが、施設の備品購入等すべて納得のいくものでもない時もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望日の休日、希望日の夜勤等を聞き、勤務表を作成しています。職員の努力や実績は、ボーナス、処遇改善に反映しています。今後もやりがいのある職場づくりを目指しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員とも、事業所内や外部で研修に参加しています。日々のケアについて不安な面、疑問な点については、その都度話し合い、良い方法を考えて実践し、少しでも解決出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	唐津グループホーム連絡会に入会し、研修、会議、交流会に参加しています。他事業所の良いところを当事業所のサービスに活かしています。災害警報時は避難状況など連絡を取り合っています。空室状況を共有し紹介し合っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に直接お会いし、出来る範囲で、利用者様、ご家族、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、施設で対応されていた職員に情報を聞き、当職員にも情報を伝え、安心して暮らせる環境作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の、利用者様への思いや要望を取り入れ、安心して頂けるように努めています。心配事や問い合わせ等は、いつでも連絡可能な体制にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援を見極め、ケアプランを作成しますが、その都度、必要とする支援を臨機応変に行えるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事業所理念を念頭におき、我が家のように、家族のように暮らしを共にする関係を築くようにしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者のご家族の絆を大切に、ご家族と一緒に利用者様を支えています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と外出される方もいます。必要な時は職員同行で、ご家族のもとへ外出しています。新型コロナウイルス感染防止のため、面会には距離をおいて行っています。	コロナ禍と利用者の高齢化、重度化により自由に外出する機会も減少している。馴染みの人間関係や商店等の訪問も難しい状況であり、関係性を継続するのは困難になっている。家族とは窓越しの面会やライン電話で近況報告を行い、関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は、なるべく皆が集まる居間で過ごして頂き、体操、レクリエーション、談話等を行い、利用者様同士の関わり、支え合える環境をつくっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた方、他施設へ行かれた方のご家族とは、時々連絡を頂いたり、訪問して下さって、その後の状況を伺い知ることができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で、利用者様の表情や会話の中、ご家族の話から、思いを感じとるようにしています。	以前は利用者個人個人のふるさと巡りや墓参りを実施しており喜ばれていたが、感染症予防の為、外出もままならず利用者本人も高齢化している為、思いや希望を聞き取るのも困難な状況となっている。家族からの要望等により自宅で過ごされる機会を支援し喜ばれた事がある。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前は、利用者様、ご家族、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、施設で対応されていた職員に情報を聞き、入居後は利用者様、ご家族との関わりの中で知ることがあり、ケアに役立たせています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、表情、体調の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様、ご家族との関わりの中で、思いや要望を聞き、必要な関係者の意見を聞き、全職員で情報収集、意見交換、モニタリングを行い、介護計画を作成しています。	ケアマネジャーは職員勉強会での状態確認や家族の意向を聞き取り、現状に即したケアプランを作成している。サービス担当者会議は勉強会の際、職員で行っているが家族の参加がない為、事前にケアプラン内容に対する承諾を得るか、自宅訪問時又は施設訪問時にサービス担当者会議を実施するよう業務内容の見直し等に期待したい。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況を個別に記録し、職員同士で情報を共有し、必要な時はケアプランを変更しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、ご家族との関わりの中で、その時々生まれるニーズを柔軟に対応出来るように勤務体制も工夫し、取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の意向や必要に応じて、地域資源を利用しながら支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様のかかりつけ医と連携をとりながら、往診、職員が受診同行と必要な医療を受けています。	入居契約時、主治医についての十分な説明を行い、施設主治医への変更をいただいている。2週に1回主治医往診があり、日常的に主治医との連携が出来ており、安心した医療を受ける事が出来ている。皮膚科や耳鼻科等他科受診の際も職員が付き添い、受診後は家族への報告を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	パートの正看護師1名、準看護師1名がいます。お互いに情報交換を行い、状態変化の早期発見に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常に主治医と連携を図り、入院時には情報を提供し、入院中は、ソーシャルワーカー、看護師と連絡を取り合い、現状確認と退院調整を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様、ご家族の思いを聞き、主治医、全職員で連携を図りながら、支援に取り組んでいます。	入居契約時主治医に関する説明や重度化対応・終末期ケア対応指針等について、十分な説明を行っている。施設入居の際、ほとんどの家族が施設での看取りを希望されており、現在まで複数人看取りを行っている。管理者は看取りに対して職員の心構えや技術等、今後も研鑽していくつもりである。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルに沿って、研修や訓練を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルをもとに、環境整備等にも気をつけています。年2回の避難訓練と、毎月、緊急時対応、避難時の対応を確認しています。	災害訓練の際は施設隣に警察官舎がある為協力を仰いでいる。実際の夜間に訓練を行い、写真がファイリングされているため、記録が見やすく次回の訓練にも活かされている。緊急時召集の際の連絡も決められており、迅速に行動出来るよう準備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様、一人一人にあった分かりやすい言葉づかいや、言葉かけを心がけて対応しています。	グループホームたよりは発行されておらず写真使用等の承諾は取られていない。プライバシーの保護として入浴時や排泄時の支援について最も配慮を要する場面であり、利用時ドアを閉めプライバシーの保護に努める事は基本である。管理者は普段からプライバシーの保護に気を付けるよう職員へ伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望を取り入れています。迷われる時は自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、状況変化に合わせて支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった服装、好まれる服を、利用者様や職員が選んで身だしなみを行っています。外出時は化粧をされる方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いやアレルギーを把握し代替え等を行っています。それぞれの方の嚥下、咀嚼にあった形態に変更しています。職員と一緒に楽しみながら準備を行っています。	法人系列事業所管理栄養士の献立により週6日調理された副食が配達されている。利用者の食事形態に応じてミキサー食、刻み食等に加工し食事全介助、一部介助、見守りにて安全に食事の支援が出来ている。おせち料理や誕生日会等の行事食は職員が施設内で調理し利用者に喜ばれている。普段は調理された副食を温めて器に盛っているが、毎食温かい汁物があれば飲み込み易く水分補給にもなると感じられる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の活動量、病状に合わせて、主治医、看護師と相談しながら、栄養、水分量を決めています。食事、水分の摂取量は記録し、脱水予防に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時のうがい、毎食後の歯磨きを行っています。歯科医師、歯科衛生士の助言を受けながら、利用者様にあった器具等を利用し、感染予防にも努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄状況を把握し、必要な方はトイレまで誘導し、記録し支援しています。	入居者のADLの低下に伴い、尿意を訴える方も少なく、定期的に声かけを行い、トイレでの排泄介助を行っている。紙おむつ使用の方が半数以上の為、定時又は必要時のおむつ交換を行っている。家族の利用料金負担増になる為、排泄用品が多額にならないよう売り出し日等を確認し、本人の預かり金より職員が購入し、負担軽減を考慮している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘等の原因を理解し、適度な運動、飲食物の工夫をしているが、上手くいかない利用者様は、主治医へ相談しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	2日に1回の入浴を行っていますが利用者様の希望があれば毎日可能にしています。体調、病状、状況に合わせて支援しています。入浴日でない方は、陰部洗浄、清拭、足浴、着替え等を行っています。	入浴は2日に一度を目度に行っているが、浴室準備は毎日行っている為、希望時や必要時はその都度入浴支援が来ている。入浴日以外の入居者は、足浴、陰部洗浄、清拭更衣を行い、清潔保持や皮膚の状態観察、保湿剤の塗布等快適に暮らす事が出来るよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況で就寝時間が変わるので、一人一人に合わせた就寝時のケアを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が常にお薬ノートを確認出来るようにしています。一人一人の服薬を把握し、服薬後はチェック表に記録し、職員同士で声を掛け合いながら服薬ミスがないように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様が、それぞれに楽しみながらできること、やりたいことを聞き、検討し、実践しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	遠出の外出、カラオケボックス、買い物は減りましたが、日光浴のために、近隣への外出は頻繁に行っています。歩行が出来る方は、自由に入出入りされ、家族とも一緒に外出されています。医療機関等の受診時を利用し、ドライブ、買い物、散髪等も行っています。	日頃の関わりの中で入居者の思いを汲み取るよう心掛けているが、外出の希望等を訴える入居者も少ない。コロナ禍の為受診時にドライブを兼ねた外出支援を行っている。藤の花が咲く季節には藤棚の下で昼食を摂るなど入居者の気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様がお金を持つことはありませんが、買い物など利用者様の希望があればご家族へ連絡し、了承を得れば支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族へ連絡したい等の希望があれば、いつでも電話、携帯電話を掛け、話ができるようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	随時換気をし、温度や湿度を調節しています。毎日、次亜塩素酸消毒液で拭き掃除をしています。安心して居心地のよい生活ができるように、家具の配置や、施設に咲いている季節の花を飾り工夫しています。	日中過ごすホールは畳敷きで床の間もあり、季節の花や壁一面に紅葉が飾ってある等、季節を感じられる様工夫され、入居者は落ち着いて過ごされている。感染対策の為、1時間に1度換気し、消毒用スプレーの噴霧や次亜塩素酸による施設内の消毒を行う等、感染対策に配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は、居間や食堂で過ごすことが多いが、居室で過ごされる時は、職員が常に居室へ行き、様子、状態を把握しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇や馴染みのタンス、家族写真等持参され、整理整頓し、居心地のよい空間になるよう努めています。	民家改修型の為居室はそれぞれ間取りが違うが、仏壇を持参したり家族の写真が飾られ、利用者にとって落ち着いた空間となっている。日中はほとんどホールで過ごされており、利用者居室の窓は開放され感染予防にも繋がっている。家族の希望により1週間ほど泊まれた家族があり、食事の提供も勧められ、家族が恐縮された事がある。家族の希望により居室での宿泊も対応出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	常に整理整頓を心がけ、事故防止、感染防止に努めています。利用者様が生活の中で必要な物は、位置を変えずに「できること」「わかること」を妨げないようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない